第73期 年次報告書

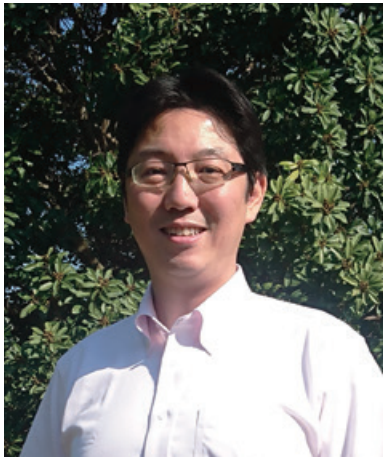
2018年4月1日▶2019年3月31日

ISAMU イサム塗料株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、当社グループの第73期の事業の概況につきまして、次のとおりご報告申しあげます。



取締役社長
北村 倍章

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移し、設備投資にも増加傾向が見られるものの、米国政権の政策動向や通商問題、欧州における政治不安や原油価格の上昇傾向、相次ぐ自然災害の経済に与える影響など、当社グループを取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、自動車補修用市場でのシェア拡大を図るため、顧客ニーズに沿った環境対応型塗料や高機能性塗料で販路拡大を図るとともに、大型車両分野や工業用分野などの新規市場開拓や建築用塗料の受注増加に向けた積極的な営業活動を展開いたしました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、79億45百万円（前年同期比1.0%減少）となりました。利益面につきましては、製品の統廃合や総原価低減に取り組んだものの、原材料価格、物流コスト等の上昇により、営業利益は6億62百万円（前年同期比12.4%減少）、経常利益は8億32百万円（前年同期比11.5%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は5億55百万円（前年同期比10.7%減少）となりました。

分野別の販売状況は、自動車補修用塗料分野では、環境対応型製品として、主力の低VOCベースコート「アクロベース」やハイソリッドクリヤー「アクセルクリヤー」シリーズで市場占有率の向上を図るとともに、環境対応への要請が強いユーザーを中心に特化則対応でPRTR法届出対象外の1液ベースコート「ハイアートNext」で新規ユーザーの獲得に努めました。併せて、水性1液ベースコート塗料「アクアスDRY」では主力ユーザーへの普及促進を行いました。また、大型車両分野・各種工業用分野を中心に2液ウレタン樹脂塗料「ハイアートCBエコ」で新規市場でのユーザー獲得に注力し、堅調に推移いたしました。さらに、調色作業を標準化・システム化し

た測色機「彩選短スマート」の販売を促進し、ユーザーの作業効率改善や若年者の技術教育に大きく貢献いたしました。

建築用塗料分野におきましては、主力の「ネオシリカ」シリーズに加え、JIS A6021取得の外壁用塗膜防水材「アトロンエラストマー」、内装用光触媒塗料「エアフレッシュ」など、各種用途に特化した製品を展開いたしました。また、タイル床面の滑り止めシステム「スキッドガードAD」では、水性タイプとして「スキッドガードAQUA」の販売促進に取り組みました。「エアフレッシュ」「スキッドガード」シリーズは一般消費者への認知活動として、幼稚園等へのボランティア塗装の協賛、YouTubeでの啓蒙動画の配信等を行い、新たな市場開拓に継続して取り組んでおります。

工業用塗料につきましては、ユーザーの環境重視志向を背景に「ハイアートCBエコ」の拡販に注力するとともに、従来の水性塗料と比較して乾燥性・光沢を大幅に向上させた1液水性アクリル樹脂塗料「アクアシャインGA」を発売し、引き続き個々のユーザーに対応して積極的な個別営業活動に取り組みました。

エアゾール分野におきましても、2石化による環境対応型製品の充実を図り、エアゾール製品の拡販に取り組んでまいりました結果、工業用向け補修用スプレー「エアラッカーエコ」が堅調に推移したほか、2液内部混合型エアースプレー「エアーウレタン」、1液カラークリヤー「キャンディーカラー」の新色の追加により、DIY分野での需要が増加いたしました。

また、企業イメージの向上のため、ホームページのタイムリーな更新と併せて、BtoB、BtoCへのアフターフォロー強化策として「YouTube」に公式チャンネルを開設し、広く消費者に製品をPRするとともに、塗装マニュアルをビジュアル化してサービス向上・顧客獲得に努めております。

今後の見通しにつきましては、政府の経済政策や日銀の金融緩和を背景に国内の景気は緩やかな回復基調にはありますが、米国、欧州を始めとする各国政府の経済政策、通商問題の動向が、株価・為替・原材料価格等に与える影響が懸念されます。また、海外情勢に関らず、塗料業界におきましては、引き続き企業間競争が激しくなることが予想されます。このような状況の中、当社グループは、「お客様に一番近いメーカーであり続けよう」という経営ビジョンを掲げ、全社員一丸となって業績の向上に邁進いたします。

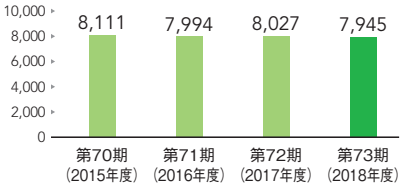
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

2019年6月

業績ハイライト

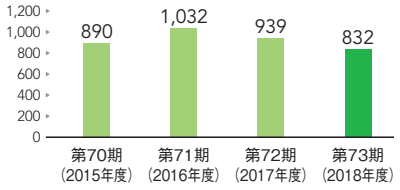
売上高

（単位：百万円）



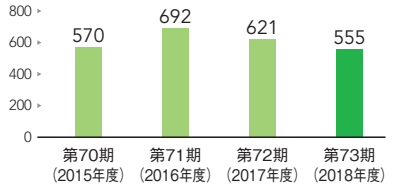
経常利益

（単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）



連結貸借対照表

（単位：千円）

科　目	当　期 2019年3月31日現在	前　期 2018年3月31日現在
資産の部		
流動資産	9,422,204	9,348,118
固定資産	8,886,131	8,671,458
有形固定資産	2,609,965	2,682,321
無形固定資産	23,470	25,842
投資その他の資産	6,252,696	5,963,295
資産合計	18,308,335	18,019,576
負債の部		
流動負債	2,347,528	2,500,648
固定負債	1,025,112	1,030,230
負債合計	3,372,640	3,530,878
純資産の部		
株主資本	14,296,914	13,837,930
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,210,130	1,210,130
利益剰余金	12,777,653	12,317,779
自己株式	△ 981,269	△ 980,379
その他の包括利益累計額	269,595	297,480
その他有価証券評価差額金	269,595	297,480
非支配株主持分	369,186	353,288
純資産合計	14,935,695	14,488,698
負債純資産合計	18,308,335	18,019,576

連結損益計算書

（単位：千円）

科　目	当　期 2018年4月 1 日から 2019年3月31日まで	前　期 2017年4月 1 日から 2018年3月31日まで
売上高	7,945,368	8,026,984
売上原価	5,466,415	5,444,251
売上総利益	2,478,953	2,582,733
販売費及び一般管理費	1,816,887	1,827,114
営業利益	662,066	755,619
営業外収益	202,532	193,023
営業外費用	32,823	9,251
経常利益	831,775	939,391
特別利益	1,294	—
特別損失	2,244	15,066
税金等調整前当期純利益	830,825	924,325
法人税、住民税及び事業税	263,767	292,431
法人税等調整額	△ 6,497	△ 1,740
法人税等合計	257,270	290,691
当期純利益	573,555	633,634
非支配株主に帰属する当期純利益	18,342	12,175
親会社株主に帰属する当期純利益	555,213	621,459

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科　目	当　期 2018年4月 1 日から 2019年3月31日まで	前　期 2017年4月 1 日から 2018年3月31日まで
営業活動による キャッシュ･フロー	640,562	1,051,663
投資活動による キャッシュ･フロー	△ 459,409	△ 34,143
財務活動による キャッシュ･フロー	△ 112,723	△ 132,861
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	68,430	884,659
現金及び現金同等物の 期首残高	2,741,821	1,857,162
現金及び現金同等物の 期末残高	2,810,251	2,741,821

貸借対照表

（単位：千円）

科　目	当　期 2019年3月31日現在	前　期 2018年3月31日現在
資産の部		
流動資産	7,957,363	8,056,315
固定資産	8,186,351	7,914,602
有形固定資産	1,914,309	1,972,131
無形固定資産	22,197	24,306
投資その他の資産	6,249,845	5,918,165
資産合計	16,143,714	15,970,917
負債の部		
流動負債	2,335,921	2,492,060
固定負債	862,483	859,383
負債合計	3,198,404	3,351,443
純資産の部		
株主資本	12,744,841	12,386,497
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,209,925	1,209,925
利益剰余金	11,183,061	10,823,827
自己株式	△ 938,545	△ 937,655
評価・換算差額等	200,469	232,977
その他有価証券評価差額金	200,469	232,977
純資産合計	12,945,310	12,619,474
負債純資産合計	16,143,714	15,970,917

損益計算書

（単位：千円）

科　目	当　期 2018年4月 1 日から 2019年3月31日まで	前　期 2017年4月 1 日から 2018年3月31日まで
売上高	7,331,193	7,393,884
売上原価	5,194,315	5,146,806
売上総利益	2,136,878	2,247,078
販売費及び一般管理費	1,663,364	1,666,894
営業利益	473,514	580,184
営業外収益	213,475	199,039
営業外費用	30,326	9,368
経常利益	656,663	769,855
特別利益	1,294	—
特別損失	2,244	15,066
税引前当期純利益	655,713	754,789
法人税、住民税及び事業税	201,483	237,331
法人税等調整額	△ 343	689
法人税等合計	201,140	238,020
当期純利益	454,573	516,769

作業環境改善、作業標準化、人材育成を実現する塗料、調色システムの販売を強化!

自動車補修市場や大型車両市場では、年々強化される法規制や労働環境、人材問題など大変革期に入っており、ボデーショップの課題解決に繋がるシステム販売を強化しています。全ての工程を環境型塗料で構成する『Isamu Eco Refinish System』は、作業環境改善と作業者の健康配慮を実現。調色管理測色システム『彩選短スマート』は、作業者による調色のバラツキを無くす作業標準化システムとして販売しています。大型車両市場では、『ハイアートCBエコ　COM-BOYシステム』として販売実績が増加しており、新たに防錆コートを加えた新システムで販路拡大を進めてまいります。

“第1回高機能塗料展 ～ 機能性塗料による新市場開拓を目指して ～”

2018年12月に幕張メッセにて開催されました「第1回 高機能塗料展」に出展いたしました。
初開催となる高機能塗料展は、塗料業界でも最大規模の展示会となります。汎用・工業用塗料で環境対応ウレタン塗料「ハイアートCBエコ」と超速乾・高光沢が特徴の水性塗料「アクアシャインGA」を出展し、環境面と機能性を打ち出した提案を行いました。建築用塗料では滑り止め塗料「スキッドガードシリーズ」を出展。メンテナンス業者や企業の社内営繕などに多くのPRをすることが出来ました。
今後も市場のニーズに応える製品開発を行い、新市場へ展開してまいります。

“健康経営優良法人2019認定”

当社では、社員の健康づくりのため様々な活動に取り組んでいます。特に運動機会の増進を図ってスタートした「健康チャレンジ！90日」は、ウォーキングやダイエット、禁煙等のきっかけにもなっています。そのような活動により、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2019（中小規模法人部門）」に認定されました。今後も継続して社員の健康づくりを応援してまいります。

会社の概要

（2019年3月31日現在）

社名	イサム塗料株式会社
英文社名	Isamu Paint Co., Ltd.
設立年月	1947年7月
資本金	12億9,040万円
従業員数	191名
事業内容	塗料、塗装用機械器具の製造販売および塗装工事請負
本社	〒553－0002 大阪市福島区鷺洲二丁目15番24号 電話　06-6458-0036
事業所	滋賀工場　営業企画部 東京支店　大阪支店 名古屋支店　福岡支店 仙台出張所　札幌駐在所 広島駐在所
連結子会社	イサムエアーゾール工業株式会社 明勇色彩株式会社 イサム土地建物株式会社 進勇商事株式会社

役員の状況

（2019年6月27日現在）

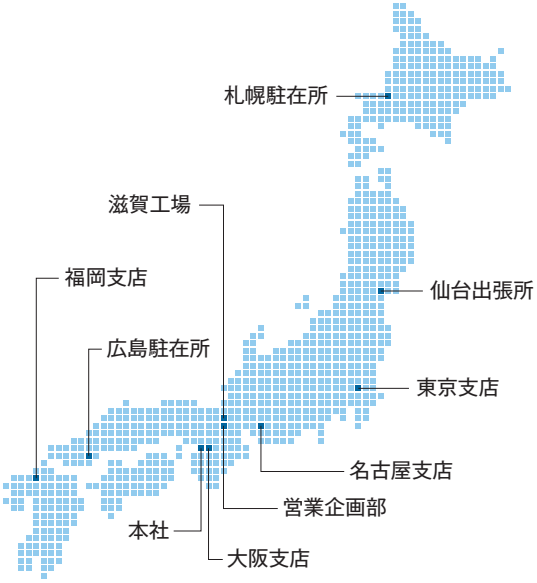
取締役社長	北村倍章	常勤監査役	横江喜夫
取締役	岩倉伸介	※2監査役	澤田直樹
取締役	角井和夫	※2監査役	樫元雄生
取締役	深田修也		
※1取締役	太田聰男		

※1. 会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
※2. 会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

会計監査人

清稜監査法人

ネットワーク



■ 詳しいIR情報は、ホームページでご覧いただけます。

http://www.isamu.co.jp/

トップページ

IR情報

株式の状況

（2019年3月31日現在）

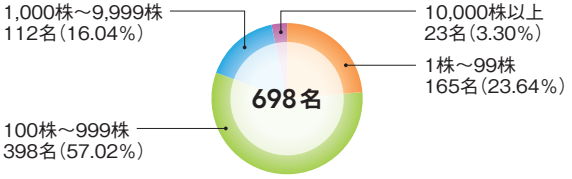
発行可能株式総数	9,600,000株
発行済株式の総数	2,400,000株 （自己株式493,371株を含む。）
株主数	698名
単元株式数	100株

大株主の状況（上位10名）

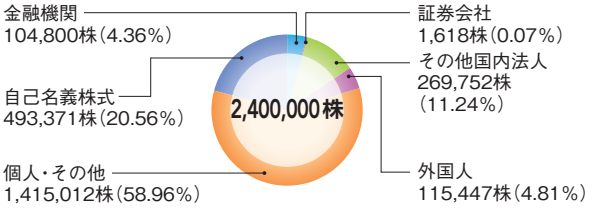
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
北村初美	443	23.24
北村健	442	23.19
イサム塗料栄勇会	247	12.95
第一生命保険株式会社	93	4.89
長瀬産業株式会社	36	1.88
イサム塗料従業員持株会	28	1.48
株式会社光通信	27	1.44
石原産業株式会社	24	1.25
株式会社ダイセル	21	1.13
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR:FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	18	0.98

（注）1. 当社は、自己株式を493,371株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有株式数別株主分布状況



所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当金　3月31日 中間配当金　9月30日
公告方法	電子公告 http://www.isamu.co.jp/ir/notification
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物ご送付先	〒541−8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部
お問い合わせ先	0120-094-777（通話料無料） （受付時間：土・日・祝祭日を除く平日9:00～17:00）
ホームページURL	https://www.tr.mufg.jp/daikou/

【ご案内】

1. 単元未満株式の買増制度について
   単元未満株式（100株未満の株式）をご所有の株主様は、お手元の単元未満株式を1単元（100株）となるよう買増し請求することができます。
   また、単元未満株式について買取り請求することもできます。
2. 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
3. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
4. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。